

議 事 調 書

事案の表示	平成 30 年度第 2 回聖籠町総合教育会議				
場 所	聖籠町役場 3 階 大会議室				
日 時	平成 31 年 1 月 11 日（金） 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで				
出 席 者	会議構成者	聖籠町長	西脇 道夫		
		副町長	夏井 智毅		
		教 育 長	近藤 朗		
		教育委員	稲田 健一		
			高崎 美由貴		
			佐久間 千都		
			深井 一成		
	事 務 局	総 務 課	課 長	高橋 淳	
			課長補佐	山田 孝	
			係 長	小林 幸宏	
			主 事	小島 健太郎	
		子ども教育課	課 長	田中 雅義	
			参 事	新保 英博	
			参 事	佐藤 伸一	
			主 任	川崎 慶典	
			主 事	阿部 紗也佳	
			主 事	横山 舞	
		社会教育課	課 長	渡辺 佳津志	
		蓮野こども園	園 長	地主 浩美	
		蓮瀉こども園	園 長	渡辺 恵子	
亀代こども園	園 長	加藤 悦子			

【会議の要旨】	
町長	議題に入る前に、その後の幼保無償化の動向について、子ども教育課長から説明してください。
子ども教育課長	国と地方（市長会、町村会）で話し合いがあり、無償化に関する経費は、初年度は国が全額負担することで合意している。 給食費については全額保護者負担とするとの方向性を出している。 今後、子ども子育て会議等で議論されていく予定。
町長	以前試算した無償化伴う町の負担はどうなるか
子ども教育課長	一時預かりの 800 万円の収入減については変わらない。 給食費については、保護者負担となったので、町の負担はなくなる見込み。
町長	公立の 3 つの幼稚園について、町が財政負担して今後も運営していくか、民営化というも視野も入れて考えていくべきか委員の皆さんから意見を伺いたい。
高崎委員	私立幼稚園があってもよいのではないか。 選択肢が増えた方が、保護者にとってもいいと思う。
深井委員	社会情勢などの流れを考えると民営化を考えていかなければならないのかなと思う。
稲田委員	幼保無償化と財政的な問題から幼児教育をどうするかという議論になるのは心外である。今後の幼児教育を向上していくための前向きな検討であればいいと思う。 しかし、現実問題でもあるのでしかたない面もある。 財政的なものと幼児教育をどうしていくのかについて、別に考えていただきたい。 民営化もよいと思うが、十分な議論と準備が必要と思う。
佐久間委員	民営化した聖籠こども園を何回か見学させてもらっているが、私立も悪くない、けっこういいものだと感じている。 本音は、教育に関することにお金のことは度外視してもらいたいという気持ちがある。もっと効率化すべきところもあるのではないかなと思う。 しかし、民営化については、やむを得ないのかなと思う。

<p>教育長</p>	<p>今の町の幼児教育の問題としては、選択肢がない点があげられる。</p> <p>民営化により、公立、私立幼稚園、保育園などのニーズにあった選択肢が増えるだけでなく、幼稚園でより良い教育・保育の提供をする意識が高まるなどの相乗効果が期待できるのでないか。</p> <p>民営化されるとこども園と小学校が同じというシステムが崩れるが、それはまれであり、今の状況からするといろいろな保育園や幼稚園から子どもが集まってくるのは当たり前であり、学校側も受け入れ体制ができていますのでその点は心配ないと思う。</p> <p>ただ、地域コミュニティの問題は、どのような影響があるのかはわからないが、自分が住んでいる地域を見てみると問題ないように思える。</p>
<p>副町長</p>	<p>到達点をどこに置くか、どういう教育を目指すのかが重要ではないか。民営化などは、その手段の一つである。</p>
<p>町長</p>	<p>財政と教育は、本来であれば切り離したいところではあるが、現実的に影響がある。このことを議論すると前に進まないことから、財政負担については別にして、町の幼児教育について議論を進めていきたい。</p>
<p>稲田委員</p>	<p>民営化して公立と私立での相乗効果で教育レベルを上げるということもいいのではないか。</p> <p>どのような幼児教育を目指すのかは、具体的に示すのは議論が必要であると思う。</p> <p>12年カリキュラムについては、民営化しても堅持してもらいたい。町の教育の骨幹と考えている。</p>
<p>高崎委員</p>	<p>自分の子どもをどんな幼稚園に預けたいと考えたとき、新潟市にある「よこみね式」という幼稚教育に興味を持った。</p> <p>競争しながら、運動や音楽、語学能力を高めていく教育をしている。それが、その後に教育に大きくつながっていくと感じた。</p> <p>そのような特色のある教育を公立で可能かなどを検討してはどうか。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>孫がいるが、他市町村で保育園に通っていたが、小学校に入るまで読み書きができない状況で、劣等感を抱いてしまう感じがあったので、小学校に入る前までには、ある程度の勉強的なものの必要かと思う。</p>
<p>深井委員</p>	<p>幼児期からの教育は重要と思う。</p> <p>特に音楽などは大きく影響があるかと思う。</p>

<p>教育長</p>	<p>今後、幼児教育に取り入れていくものとして、英語教育を考えている。それを遊びの中に取り入れながら進めていく予定としています。</p> <p>担任の先生の力量に頼るのではなく、幼児教育として意図的、計画的に進めていくことが重要である。</p> <p>幼稚園教育は、何々をしなければならないというものがなく、意欲を高めていくことが最大の目的であるため、様々手法によりそれを高めていくことが重要である。</p> <p>公立であればこれを統一して推進できるが、民営化となった場合、民間にお願いできるかが課題であるのではないかと。</p>
<p>副町長</p>	<p>様々な地域で子育てを経験しているが、どこの地域でも保護者は、町の教育方針とかでなく、どのような特色があるかで幼稚園を選ぶ傾向がある。</p> <p>聖籠町がどういう教育をしたいという根底は必要であると思うが、幼稚園ごとに特色があって、それを選択できるということもあったものではないかと。</p>
<p>町長</p>	<p>民営化など様々な意見いただきましたので、それを整理して、今後また、議論を進めていきたいと思えます。</p> <p>次に町の幼児教育の特色（ブランド化）について、どう考えているか、意見をいただきたい。</p>
<p>稲田委員</p>	<p>聖籠町の教育を12カリキュラムの中でどう捉えていくのかをはっきりと打ち出していくことが良いのではないかと。</p> <p>聖籠町はこのような教育をして、このような成果があるということアピールしていくことがいいのではないかと。</p> <p>また、ブランド化という表現は、教育になじまないのかと思う。</p>
<p>高崎委員</p>	<p>町の12年カリキュラムを考えると民営化して独自の教育をしてくとそれが繋がらなくなるので難しい問題だと思。</p>
<p>佐久間委員</p>	<p>12年カリキュラムは民営化すると難しいと思うが、できるだけお願いしていくしかないのではないかと。</p>
<p>深井委員</p>	<p>聖籠町は、子育て支援制度も充実していると思うが、さらに特色あるものを考えていく方がいいのではないかと。</p>
<p>教育長</p>	<p>無償化については、保護者にとっては大いに満足できるものであった</p>

副町長	<p>と思う。しかし、小学校になる転出してしまう現実もあった。</p> <p>ここで育ち学ぶということに意義を感じてもらうことがブランドであるのではないかと感じる。それを考えていくことがよいのではないか。</p> <p>子育てについて、経済的な手段で支援してきたことは、ひとつのブランドであったと思う。</p> <p>個別の手段でブランドを作るのは難しいが、教育に対する考え方やどれくらいの熱意をもっているかなどの姿勢がブランド化につながっていくと思う。</p> <p>それを達成するにはどのようなやり方できるかを財政的なものや体制的な制約の中で、考えていかなければならないと思う。</p>
町長	<p>皆さんから意見をいただき、課題が見えてきたかなと思います。</p> <p>次回にこの課題を整理して示していきたいと思います。</p>
町長	<p>議題2「循環バスの見直しに伴う通学確保について」</p> <p>次の議題ですが、循環バスの見直しをしていく中で、小学校の登下校で利用している実態がある。また登校班が組めない地域があり、その子どもの安全確保のための送迎が問題化してきている。</p> <p>このような状況で、循環バスが利用できない場合、どのような対応が必要なのかを検討しています。中学校の冬季期間のスクールバス等も含め、循環バスなど全体的な交通網について考える必要がありますが、これについてみなさんの意見を伺いたいと思います。</p>
稲田委員	<p>子ども達の安全確保を第一に考えて町の補助等で行ってもらいたい。財政状況から考えるとスクールバスがいいのか循環バスがいいのかわかりませんが、見直しについては、子どもの安全確保を第一にお願いしたい。</p>
高崎委員	<p>稲田委員と同意見でどのような方法があるがわからないが、安全な送迎をお願いしたい。</p>
佐久間委員	<p>蓮野小学校で循環バスを利用している実態を知った。</p> <p>循環バスは高齢者も利用しており、継続してほしいと思う。</p>

<p>深井委員</p>	<p>通学は個人的なものあり、基本は個人や保護者が通学を行うものとは思いますが、遠方で登校班が組めない状況でバスを利用しているのであれば、子どものことを考慮して見直しをしていただきたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>子どもの安心安全の確保を行うことは、学校、教育委員会、町に責任があると思っている。</p> <p>バスを希望する人もいれば、歩きたい歩かせたい人もいることから一律に手段を決めないで、選択できるようにした方がいいと思う。</p> <p>町としては、こういう環境があるので、どうですかという選択できるようにしたほうが良いと思う。</p>
<p>副町長</p>	<p>行政財政改革の対場からいうと公共交通と通学バスの必要性和その手段としての費用対効果、受益者負担も合わせて考える必要がある。</p> <p>そのような中で、通学の手段を考えていかなければならないが、どういう形でどこまでということは財政的な観点も必要かと思う。</p>
<p>町長</p>	<p>中学校の冬季バスは2.5キロの距離制限を設けている。蓮野小学校では1・2年生を対象に循環バスを利用しているが、3年生以降もバスを利用したいとの要望もある。ただ、それによってバスを利用する子ども多くなると登校班が組めなくなることもあり、それも課題となっているので、このことについても意見があれば伺いたい。</p>
<p>教育長</p>	<p>中学校の冬季バスで、小学生や2.5キロ以内の中学生が歩いているのに、バスは校門まで運行していて、それが不公平に感じるということもあるので、2キロくらいのところで下して歩かせるなどもひとつの考えだと思う。</p> <p>歩くことも体力がつくなどの効果もある。さまざま意向があると思うので、選択できることがいいと思う。その中で公共交通機関も選択肢のひとつであるが、それがどうなるかわからない状況であるので、教育委員会としても検討していきたいと思う。</p>
<p>町長</p>	<p>バスについては情報が少ない中、意見をありがとうございました。</p> <p>現在、デマンドタクシーなど様々ことを検討していますが、すぐには結論がでない状況であります。循環バス、スクールバスなどを同時に考えていくことにしていますので、今後また議論をしていきたいと思しますのでよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、今日は、様々な意見をいただきましたので、課題を整理していきたいと思います。</p>

<p>高崎委員</p>	<p>他になににありますか。</p> <p>教育委員会の研修費を出していただけないか。</p>
<p>子ども教育課長</p>	<p>検討したいと思います。視察場所によりますが、対応できる場合もあります。</p>
<p>稲田委員</p>	<p>町長が考えている教育について、意見を交わす機会があればいいと思いますので、検討願いたい。</p>
<p>町長</p>	<p>わかりました。今後、検討したいと思います。</p> <p>他になければ、これで終わりたいと思います。</p>